

交通基本法を 考える

交通権学会◆編

人と環境に
やさしい交通体系を
めざして

2011年の通常国会に交通基本法案が上程される見通しである。公共交通廃止など交通格差の広がりを見直し、新しい人権である交通権の確立と、政府案の改善点を提言する。交通権学会の研究成果を問う1冊。

新しい人権である交通権とは何か？ 交通格差・交通弱者をなくすために 人と環境にやさしい交通基本法の実現を！

交通権学会

交通権ならびに交通問題に関する研究とその成果の普及を通して、市民本位の豊かな交通体系を創出していくことを目的としている。法学、経済・経営学、社会学、福祉学、理工学など多分野からなる会員によって構成されている。<http://www.kotsuken.jp/>

JR、バス、タクシー、航空... 経営者・職員、自治体関係者、障害者団体を始め、足を守るみなさん必読！



◆目次◆

- 序 交通基本法に寄せて
- I 交通基本法と移動の権利
- II 現代日本の交通問題
- III 交通の制度改革
- 資料編

A5判、144頁

定価 1,470 (本体1,400) 円

2011年1月20日発売

かもがわ出版

〒602-8119 京都市上京区堀川通出水西入

TEL 075(432)2868 / FAX 075(432)2869

ホームページ <http://www.kamogawa.co.jp>

きりとり線

注文書

お名前

おところ 〒

電話番号

部数

冊

かもがわ出版 Tel075-432-2868 Fax075-432-2869

交通基本法を考える
人と環境にやさしい交通体系をめざして
交通権学会 編

ISBN978-4-7803-0410-7 C0065 ¥1400E

〈定価〉1470円
(本体価格1400円)